



読み聞かせに子どもたちは夢中になり、一緒に歌を歌ったり、「食べる」「泳ぐ」などのしぐさまねしていました。

現在、図書館・図書室で定期的な読み聞かせを行っているグループは2つあります。それ以外のグループは、小学校などで定期的または不定期に読み聞かせを行っています。

図書館と各グループは、本の貸し出しや相談などでつながりがありました。しかし、グループ同士のつながりはほとんどなく、活発な交流があったわけではありません。それぞれの思いがあり、読み聞かせのスタイルも違うグループ同士の交流を広げていこうと動いたのが図書館でした。

「自分たちがパイプ役となつてつながる」という思いを持ち、としょかんまつりや子ども読書フェスティバルなどのイベントに参加してもらいました。また、各グループの活動を知ってもらおうとパネル展示を企画し、子どもたちへの読み聞かせをお願いしました。今後イベントなどで各グループをつなげていこうと考えています。

図書館で毎日おはなし会に挑戦！ ～おはなしマラソンを開催します～

子どもたちが地域に帰ってくる夏休みを利用して、泗水図書館で毎日おはなし会をします。菊池市内の読み聞かせボランティアグループが交代で、絵本や紙芝居、パネルシアターなどを使ったおはなし会を開きます。

第2回「読書マラソン」も実施予定です。

期 間 7月25日(日)～8月29日(日)
午後3時～(30分程度)

ところ 泗水図書館

問い合わせ先 泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866



布でできた絵本は子どもが破る心配もなく、借りることもできるので人気があります。

子どもたちへ 本の楽しさを 伝える活動

図書館や小学校で子どもたちに本の読み聞かせをボランティアで行う人たちがいます。読む本を図書館で選ぶこともあり、図書館が各グループのパイプ役となって交流を広げようとしています。



手作りの折り紙絵本やパネルシアターに子どもたちは興味津々。ドアをトントンとたたく場面では、近づくようにトントンとたたき子どももいました。

本に親しむ読み聞かせ

菊池市内には、団体・個人で活動している読み聞かせボランティアグループがたくさんあります。図書館で毎月読み聞かせをしているグループや、小学校で読み聞かせをしているグループ。中には地域の人や、子どもたちのために集まって読み聞かせを行うグループもあります。10年以上前から活動しているグループもあり、最近できた新しいグループもあり、それぞれが工夫を凝らした読み聞かせを行っています。

読む本や紙芝居などはグループで所有しているものや図書館から貸し出されるものを使います。図書館には団体貸し出しという制度があり、読み聞かせに使う絵本などを通常よりも長い期間借りることができるのです。また、読み聞かせの前に図書館へ借りに行き、何を读もうか考えることもあるそうです。そうやっていくつも本を読み比べて、子どもたちのために読む本を選びます。

図書館も、子どもたちが本に親しんでくれるよう協力しています。どんな本を読もうか相談を受けることもあれば、読み聞かせをお願いしたいと要望することもあるそうです。

本の楽しさを知る子どもになってほしい

子どもに読み聞かせが必要との思いから、平成8年に七城小学校に通う子どもたちの親が中心となって活動を始めました。活動は小学校で月に3回、メンバーで振り分けて読み聞かせをしています。中学校でも読み聞かせをしているんですが、年齢層で聞き方が変わりますね。

読むときは、ページのめくり方や絵が見やすいよう持ち方に気を付けています。読む本は、メンバーが自分たちで選んでいます。本は自分たちで持っているもの、学校

や地域の図書館から借りてきます。どんな本を読んだらいいか、図書館で相談に乗ってもらったりもするんです。また他の団体とのつながりも図書館が作ってくれました。夏休みのおはなしマラソンにも参加しますよ。

読み聞かせをしていて、子どもと心が一つになるときがあるんです。それがたまりませんね。自分で本棚に手を伸ばす子になってくれればと思います。これからも子どもたちのためにこの活動を続けていきたいですね。



岡本 由紀さん
くれよん・くらぶに所属。

子どもには可能性がある

15年くらい前に、熊本県の読み聞かせグループの教室に参加したのがきっかけで始めました。毎年、県内のグループと交流会もしているんですが、本の持ち方や角度から学ぶんです。信念を持って、きちんとした姿勢で挑まないといけないと思っています。プロではないけれど、子どもには可能性があるでしょ。ただ読めばいいということじゃなくて、お話を伝えることが大切だと思っています。それから、子どもたちに絵本に親しんでほしいのと、絵本を紹介したいという気持ち

ちですね。

毎月、図書室でおはなし会を開いたり、保育園や小学校で読み聞かせをしています。今年は中学校でも読み聞かせをしたんですが、みんなきちんと聞いてくれました。図書館でおはなし会をすると、来てくれた子どもたちが本を借りていくんです。おはなし会の間はじっと見ててくれる。小さい子どもも喜んでくれて、この時間があるからやってるんですよね。



原 保奈美さん
きくちおはなしのもり代表。

終わりに

子どものころ、学校帰りや夏休みなどによく図書館へ行きました。夏休みの読書感想画や感想文に必要な本も、図書館で借りていたのを思い出します。たくさん本が並んだ本棚の前で、何を读もうか考えることが好きでした。

たくさん本は調べものにも利用できるので、学校の授業などで使うこともあるそうです。また、図書館では学校司書の人たちの交流も始めているんです。夏休みを利用した一日司書体験は、司書同士が知り合いになってほしいと始められました。今年も希望した学校司書が、図書館で一日司書として働きます。

この活動では、図書館にどんな本があるのか知ってもらい、学校で利用したい本があるときは気軽に連絡してもらおうという目的もあります。顔見知りになることでより相談しやすい環境をつくろうと、平成21年に泗水図書館が企画し、今年で2回目になります。

図書館は動くことができますから、どうすれば人が図書館に集まるのかを図書館で働く人たちは考えます。図書館にたくさん人が来て、それぞれが好きな本を読んで帰るだけでも、そこは立派な「図書館」かもしれません。しかし、それでは利用者と図書館職員のやりとりしか生まれず、利用者同士の交流はあまりないでしょう。福吉館長が「図書館は出会いの場」と話したように、利用者たちをつなげる役目が図書館にはあるのかもしれない。読み

問い合わせ先 図書館・図書室に関すること

泗水図書館
☎ 0968 (38) 6866
七城公民館図書室
☎ 0968 (25) 1580
旭志公民館図書室
☎ 0968 (37) 3111

※図書館・図書室の開館日時やイベント情報などは、毎月「図書だより」に掲載しています。ぜひご覧ください。今月は19ページに掲載しています。

ブックスタートに関すること
生涯学習課社会教育係
☎ 0968 (25) 7232